



私の
**なんとか
しなきゃ!**

Vol. 36

PROFILE

1980年東京都出身。日本大学芸術学部映画学科卒業。99年、舞台『BOYS TIME』でデビュー。2000年、『池袋ウエストゲートパーク』の出演で注目を集め、ドラマ、映画、舞台、CMなどで幅広く活躍。今後の出演に、宮藤官九郎作・演出『大パルコ人②パカロックオペラバカ「高校中パニック!小激突!!」』（パルコ劇場・2013年11月24日～）、ODA広報番組『佐藤隆太の地球元気!』（テレビ東京、毎週金曜21時54分～22時）に出演中。

今年の6月から、日本の国際協力を紹介するテレビ番組に出演させていただいています。これまでも海外に行く機会があったのですが、実は開発途上国とはあまり縁がなかったんです。ですから、最初にこのお話をいただいた時、正直僕に務まるのか不安がありました。でも、制作サイドから日本の国際協力について聞いているうちに、これまでまったく自分が触れたことのない世界について、純粋に“もっと知りたい”と強く感じました。そして、視聴者の皆さんと同じ目線で、僕自身も学び、そこから何かを発信していけたら、と思ったのです。

緊張の中迎えた第1回目のゲストは、マレーシアの海上保安組織で活動されている日本の海上保安官の方。僕自身も演じたことがあり、なじみのある職業でした。海上保安庁が海外でも活動していることは役づくりを通じて知っていたのですが、実際の現場から伝わってくるお話は迫力があり、まさに世界の海を守っているのはこの人たちなのだ。その他にも、民間企業やNGOの方々と出会い、国際協力の

志を持って生きる

俳優 佐藤 隆太

SATO Ryuta



現場をこの目で見てみたいという思いがふくらんでいきました。

そして7月、初めてのロケでインドネシアに行くことができました。首都ジャカルタの街はビルが立ち並んでいて想像以上の大都会。一方で、少し離れるとスラム地区が広がっていて、そんな2つの現実が同時に存在することに驚きました。あちこちにごみが散乱しているのも気になりましたが、現地の人たちは決して悪気があって捨てているわけではなく、ポイ捨てが習慣化しているようでした。ごみに対する人々の意識を変えていくというのは、簡単なようで、とても難しいのではと感じました。

一方で、現場には、この国を良くしようと現地の人たちが奮闘している日本人がいらっしゃいました。大学の研究者、建設業者、開発コンサルタント、青年海外協力隊員…。さまざまな困難が立ちはだかる中での生活はとても大変そうに見えたのですが、「この仕事が好きでやっているから」という、とても気持ちの良い言葉が返ってきました。自分が向かっていくべきものに出会えると、こんなにも人は生き生

きとするんですね。

どの業界でも、限られた期間で着実に成果を出すことは、並大抵の努力では達成できません。目の前の課題に真剣に向き合い、強い志を持った日本人と現地の方々がいるからこそ、インドネシアも発展に向けて前進できているのです。そんな彼らの真っすぐでぶれないパワーに力をもりましたし、僕自身も役者として気が引き締まる思いでした。

今回の訪問を経て、一人一人のつながりが、国と国とのつながりになっていくのだと知り、日本人として、とても誇らしく思いました。僕自身もこれから番組を通じて、途上国やそこで活動する日本人についてももっと知ってもらいたいと志を新たにしました。

「なんとかしなきゃ!プロジェクト」は、開発途上国の現状について知り、一人一人ができる国際協力を推進していく市民参加型プロジェクトです。ウェブサイトやFacebookの専用ページを通じて、さまざまな国際協力の情報を発信していきます。

「なんとかしなきゃ」で 検索